

案内

第 13 回転倒予防指導者養成講座(熊本)

日時：5月21日(土)・22日(日)

会場：熊本機能病院, 市民ホール他

プログラム

[21 日]

「転倒予防の目指すもの」武藤芳照(転倒予防医学研究会世話人代表)／「高齢者の転倒・骨折—今でできること・やるべきこと」高杉紳一郎(九州大学病院リハビリテーション部・診療准教授・整形外科医)／「回復期リハビリ棟におけるチームアプローチによる転倒予防対策への取り組み」渡邊進(熊本機能病院神経内科・リハビリテーション科部長, リハビリテーション・神経内科医)／「転倒リスクの評価法」岡田真平(身体教育学研究所研究部長, 健康運動指導士), 北湯口純(雲南市立身体教育医学研究所うなんん主任研究員, 健康運動指導士)／「高齢者における薬剤と転倒リスク」小原淳(東京厚生年金病院薬剤部部長・薬剤師)「認知症のある高齢者への転倒予防に配慮した関わり方」鈴木みすえ(浜松医科大学医学部看護学科教授)／交流会

[22 日]

実技「地域在住高齢者向けの運動プログラムを考える」北湯口純, 岡田真平／「地域在住高齢者に対する転倒予防事業の展望と課題」河本耕一(熊本健康・体力づくりセンター主任, 健康運動指導士)／自由討議・質疑応答

定員：50 名

参加費：会員 28,000 円, 非会員 30,000 円(テキスト代, 交流会費含む)

※交通・宿泊は各自手配, 運動着・上履き持参

申し込み：FAX または E-mail にて, 氏名(フリガナ), 会員・非会員の別, 所属先, 職種, 参加票送付先住所(所属先が自宅かを明記), TEL/FAX 番号を下記まで

問い合わせ先：事務局

〒104-0045 東京都中央区築地 1-9-4 ちとせビル 3F

TEL & FAX：03-3544-6112

E-mail：tentou@ellesnet.co.jp

URL：http://www.tentouyobou.jp/

案内

第 17 回日本看護診断学会学術大会

日時：6月19日(日)・20日(月)

会場：シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル(千葉県浦安市)

テーマ：看護診断とスピリチュアルケア—全人的なアセスメント・介入能力を高めるためには

プログラム：「スピリチュアルニーズを持つ人への看護診断—介入」本郷久美子(三育学院大学看護学部)／招聘講演 I「看護のためのスピリチュアルケアの研究・実践のあゆみ」, II「スピリチュアルアセスメント—実践への活用と課題」Elizabeth Johnston Taylor, PhD, RN(米国ローマリング大学)／教育講演 I「スピリチュアルケアの実践家を育てる」窪寺俊之(聖学院大学大学院), II「看護診断の基礎的理解」大島弓子(神奈川県立保健福祉大学), III「日本文化的スピリチュアルケア」大下大圓(飛騨千光寺)／特別講演「NANDA-I の近況と看護診断開発」上鶴重美(看護ラボラトリー)／シンポジウム I「看護診断の教育をどう行うか—基礎教育と継続教育の実践から」山勢博彰(山口大学大学院医学系研究科), 佐々木真紀子(秋田大学大学院医学系研究科), 渡辺八重子(亀田総合病院), 黒田美喜子(東京都立広尾病院), II「スピリチュアルケア—各専門領域における実践と課題」稲野聖子(介護老人保健施設伊丹ゆうあい), 高橋奈美(名古屋第二赤十字病院), 北村愛子(りんくう総合医療センター市立泉佐野病院), 川瀬洋子(愛知県がんセンター中央病

院)／事例セッション I「簡単な事例で看護診断を考える」長家智子(九州大学医学研究部), II「対象の状況を統合して看護診断をする」奥津文子(滋賀県立大学人間看護学部), III「妥当性の高い診断を確定する」長谷川智子(福井大学医学部看護学科)／交流セッション I「看護診断実践家(リーダー)の養成」丸山陽子(亀田総合病院), II「遺族のグリーフ・ケア」永田英子(東京衛生病院), III「転倒リスク状態に関する看護介入」任和子(日本看護診断学会学術活動委員会), IV「周産期看護領域の看護診断の現状」青木康子(日本助産診断・実践研究会)／一般演題・口演・示説

参加費：

(～ 4/30)会員 8,000 円, 非会員 10,000 円

(～ 6/3)会員 10,000 円, 非会員 12,000 円

(当日)会員 11,000 円, 非会員 13,000 円

学生 3,000 円

※登録はホームページから

問い合わせ：運営事務局

〒135-8071 東京都江東区有明 3-1-22

TFT ビル東館 9F プロムインターナショナル内

TEL：03-5520-8821

FAX：03-5520-8820

E-mail：jsnd17@procomu.jp

URL：http://www.procomu.jp/jsnd17/

案内

第 13 回日本母性看護学会学術集会

日時：6月11日(土)8:50～17:40

会場：自治医科大学看護学部(栃木県下野市)

テーマ：周産期ハイリスクケアの構築

プログラム：会長講演「周産期ハイリスクケアの構築をめざして」成田伸(自治医科大学看護学部)／理事長講演「周産期ハイリスクと母性看護専門看護師—日本母性看護学会の役割」高橋真里(北里大学看護学部)／特別講演「生活習慣病の予防と母性看護への期待」草間朋子(東京医療保健大学大学院)／シンポジウム「ハイリスク妊産婦への専

門的な支援」小嶋由美(獨協医科大学病院看護部)、中村康香(東北大学大学院医学系研究科)、新井陽子(北里大学看護学部)／一般演題・交流集会

参加費：

(～5/16)会員 6,500 円、非会員 7,500 円

(当日)会員 7,500 円、非会員 8,500 円

学生(大学院生を除く) 2,000 円

問い合わせ：jsmn2011@jichi.ac.jp

URL：http://www.jichi.ac.jp/bosei/index.html

案内

第 2 回日韓地域看護学会共同学術集会

日時：7月17日(日)・18日(月・祝)

会場：神戸市看護大学(神戸市西区)

メインテーマ：Challenge and Innovation on Community Based Nursing

プログラム：基調講演「コミュニティを基礎とした看護の挑戦」金川克子(神戸市看護大学)、Yun Soon Nyoung (Seoul National University)／特別講演「我が国の日常性と健康観」上羽康之(神戸百年記念病院)／シンポジウム1「ヘルスプロモーションに向けた健康な地域づくり」大森純子(聖路加看護大学)、内野栄子(神戸市保健福祉局)、Kim Cung Nam(Keimyung University)、Yang Soon Ok(Hallym University)／シンポジウム2「地域を基盤とした看護活動の新たな挑戦」小西かおる(昭和大学)、川添高志(ケアプロ㈱)、June Kyung Ja (Soonchunhyang University)、Kim Soon Lee(The Catholic University of Korea)／情報交換会1「高齢社会における日韓介護保険事情」堀井とよみ(NPO みな

くち)、Kim Jung Soon(Pusan National University)／情報交換会2「子どもの健康を護る保健活動—関係機関との協働」上野昌江(大阪府立大学)、Han Mi Lan (Ewha Girls' High School)／一般演題／市民公開講座／懇親会

参加費：(昼食込)

(～5月末)会員 23,000 円、非会員 25,000 円

(6月1日～)会員 25,000 円、非会員 28,000 円

大学院生を除く学生 4,000 円と同行者 7,000 円は一律

申し込み：ホームページ(<http://square.umin.ac.jp/jkjcchn2/index.html>)参照

問い合わせ：事務局

〒651-2103 神戸市西区学園西町 3-4

神戸市看護大学 地域・在宅看護学分野

FAX：078-794-8434

E-mail：jkjcchn2@tr.kobe-ccn.ac.jp

案内

第 16 回聖路加看護学会学術集会

日時：9月24日(土)9:40～18:00

会場：聖路加看護大学(東京都中央区)

メインテーマ：“看護の可能性を拓く”—看護実践の高度化と役割拡大の中で

プログラム：大会長講演「グローバルヘルスニーズの変遷と日本の国際看護の発展」田代順子(聖路加看護大学国際看護学教授)／特別講演「グローバルヘルスへの貢献とグローバルネットワークの発展(仮)」バーバラ A パーフィット(グラミン-カレドニアン看護大学学長)／ランチョンセミナー「聖路加国際病院の看護継続教育」高屋尚子(聖路加国際病院教育研修副部長)、「People-Centered Care をひらく—海外研修報告」長松康子、小林真朝、伊東美奈子(聖路加看護大学)／シンポジウム「看護実践の高度化と役割拡大」有森直子(聖路加看護大学遺伝看護学准教授)、大久保暢子(聖路加看護大学基礎看護

学准教授)、宮坂勝之(聖路加看護大学周麻酔期看護学教授)／一般演題／自由集会

参加費：

(～9/3)会員 5,000 円、非会員 6,000 円

(当日)会員 6,000 円、非会員 7,000 円

大学院生 1,000 円、学部生無料、2011 年卒および修了の発表者 1,000 円

郵便振込先：00150-0-429707・第 16 回聖路加看護学会学術集会

問い合わせ：事務局(長松康子)

〒104-0045 東京都中央区築地 3-8-5

聖路加看護大学 2 号館 4 階

E-mail：slnr16@slcn.ac.jp

URL：http://slnr16.umin.jp/

案内

研修会「脳血管疾患と脊髄損傷の排泄ケア」

日時：6月4日(土) 10:00～15:00

会場：すみだ産業会館(東京都墨田区)

講師：西村かおる(コンチネンシアドバイザー)、高崎良子
(皮膚・排泄ケア認定看護師)

対象：看護師

定員：80名

参加費：10,000円

申込締切：5月27日

問い合わせ：コンチネンシアジャパン

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-4-2

TEL：03-3301-3872

FAX：03-3301-3878

URL：http://www.continence.co.jp

案内

日本看護歴史学会第25回学術集会

日時：8月26日(金)・27日(土)

会場：沖縄県立看護大学(沖縄県那覇市)

プログラム

[26日]

会長講演「歴史を学び、看護の未来を拓く―戦後沖縄の看護から学ぶこと(仮)」仲里幸子(元沖縄県立看護大学教授)／特別講演「米国施政権下における沖縄の行政機構」石川秀雄(元沖縄県副知事)／総会／特別セッション「沖縄戦における学徒隊の体験から」演者未定(元ひめゆり学徒)／口演・示説・交流セッション／懇親会

[27日]

教育講演「記録なくして歴史なし―アーカイブスの重要性とその活用について」仲本和彦(沖縄県公文書館主任専門員)／口演・示説・交流セッション

参加費

(～7/11)会員・非会員 7,000円

(7/12～)会員・非会員 8,000円

学生(大学院生除く) 2,000円、懇親会 3,000円

申し込み：所定の用紙に必要事項を記入し事務局までFAXの上、下記郵便振替口座に振込みのこと

ゆうちょ銀行【口座番号】01790-6-88259【口座名】日本看護歴史学会第25回学術集会

問い合わせ：事務局

FAX：098-833-8935

e-mail：rekishi25@mail.edu.okinawa-nurs.ac.jp

案内

日本看護技術学会第10回学術集会

演題募集

日時：10月29日(土)・30日(日)

会場：日本赤十字看護大学(東京都渋谷区)

テーマ：看護の技を磨く

プログラム：会長講演「いのちの学びを支える看護の技―社会のニーズとその伝承」陣田泰子(聖マリアンナ医科大学)／特別講演「技の伝承と人育て」菊池恭二(社寺工舎代表)／シンポジウムⅠ「看護技術論の問題」川嶋みどり(日本赤十字看護大学)、小坂橋喜久代(群馬大学)、菱沼典子(聖路加看護大学)／シンポジウムⅡ「看護の技はどのように磨かれるか」渋谷幸(神戸市看護大学)、梶田三枝子(聖マリアンナ医科大学病院)、大和田恭子(日本赤十字社医療センター)／キーセッションⅠ「看護の技を支える用具の変遷」、Ⅱ「看護の技の検討―技術成果検討委員会の取り組み」、Ⅲ「看護の技の普及―背面開放座位とその

保持具」、Ⅳ「看護の技の新たな挑戦―セルフケア能力を高める技」、Ⅴ「達人に学ぶ看護の技―赤ちゃんの肌を蘇らせる技」／10周年企画展示「看護用具の変遷にみる看護の技」／その他

事前参加費

(4/1～8/31)会員 10,000円、非会員 11,000円(9/1以降は当日受付)

学生(大学院生除く) 3,000円、懇親会 5,000円

演題募集期間：4月1日(金)～5月31日(火)

問い合わせ：事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

日本赤十字看護大学内

E-mail：jsnas10-office@umin.ac.jp

URL：http://jsnas10.org